

トイレの水が美味しいのは、、、。

国語科 湯澤昇治

トイレ関連メーカーの新入社員が、研修で本社のトイレに連れて行かれ、「心をこめて掃除をすれば、大便器を流れる水だって飲めるのだ」と先輩の社員に言われる。その場で先輩社員は大便器の水を流し、コップで掬^{すく}ってゴクゴク飲んで見せる、というのは都市伝説かもしれないが、本当であってもよさそうな話である(注1)。この話で重要なのは「一般的に極めて汚い所でも掃除し尽くせば、流れる水さえもキレイになる」ことであろう。しかし、この水は美味しいのだろうか？ いや、「美味しいと感じて飲むことができるのだろうか？」と私は思う。水道の蛇口から出た水の美味しさを越えることはないのではないかな。

十年ほど前に、西日本の千キロ以上の田舎道を十回以上に分け、合計五十日間近くかけて歩いたことがある。脱水症状、熱中症もどきは日常茶飯事。一步間違えば谷底に落ちて絶命確実、または豪雪の中で道がわからず遭難確実。濃い赤茶黒ワイン色の小便が出たので救急車を呼ぼうか？ という緊急事態の連続の中でも日常的に困ったのが、飲み水の確保であった。宿を朝に出発する時には、宿で入れたくれた無料のお茶をペットボトル二本に入れてリュックのサイドに装備しても、数時間で底をつく。そうすると「目立つ赤い自販機はないか？」と視線がさまよってくる。ハンガーノック(注2)も加わり足も千鳥足。アルコールは飲んでいないのに、外見上はただの酔っ払いである。自販機は一切ない。納屋や民家はあるものの「ちょっと水を飲ませて下さい。」とは恥ずかしくて言えない。我慢するのが、この歩きの重要な意義の一つなのだから。

となると探すのは水場である。おおっ、あそこに、田舎なのに(いや、田舎だから)立派な公民館があり独立したトイレ棟が付随して建っているではないか。早速トイレに入ろう。もちろん水を飲みである。手洗い場があるので便器を流れる水を飲む必要はない。

ギュゴリリ、ギュゴリリ(←なかば錆びついている水栓の取っ手を回す音)、

ドジュジュワァー(←水が蛇口から流れ出てくる音)、

ドヴァクン・ドヴァクン(←その水が両手の、手の平に貯まってくる音)、

ゴキュルクン・ゴキュルクン(←水が喉を通り過ぎる音)、

プップッ、フワァー(←言うまでもなし)。

しかし、もし手洗い場がなくて大便器の水を飲まなければならなかったら、どうだろうか。もちろん飲むに決まっている。但し便器の内側を自分のキレイなハンカチで何回も拭い、何回も水を流してからのことである。そして、大便器の中を流れる水の方が、手洗い場の蛇口から出る水よりも美味しいのは言うまでもあるまい。

私たち、先生や人の親と言われる者は、生徒諸君が有名な大学に現役で合格して欲しいと思っているのと同じ位の強さ(以上)の希望で、「できれば一度だけ骨折して数日で問題なく完治して欲しい」とか「できれば一度だけ重大な病気にかかり数日で問題なく完治して欲しい」と勝手に願っている。「他人の苦労や辛さ、悲しみ、痛みは、そうなった人と同じ境遇になってみないとわからない」と熟知しているからである。同じ骨折や病気にかかったとしても苦労や辛さ、悲しみ、痛みは境遇によって左右されるので同じ状況になること

はないし、同情を嫌って通常の治療・入院・看護・相談を拒否する人さえいる。そういう人でも、同病の人が苦しんだ話には素直に涙する。なぜだろう？

私たちの人生は背景も含めて余りにも複雑なので、細部まで同一の事象があり得ないの
は言うまでもない。AさんがCということを起こしたとしても、別のBさんが起こしたC
ということの理由が正反対のことすらある。信じられないことだが、例えば結婚は一般的
に幸福になるために(または結果的に社会的な幸福の一環として)することであろうが、あ
る人は「私は不幸になるために結婚するの」と真剣に私に語った(注3)。その背景は複雑
で他人が介入できることではなく、当時の若い私には「幸福な結婚をして欲しい」と祈ら
ずにはいられなかった。

上に書いた結婚の例はある意味でわかりやすいが、結果が同じでも逆に原因が複雑過ぎ
て分かりにくいこともある。学校は善意を前提とした組織集団であり、人間という集団は
『複雑系』(注4)であり、仏教では『三世因果(さんぜ・いんが)』(注5)とも言う。人間は
物体の側面が大きいので、今の原因結果(つまり因果)の法則に左右されざるを得ないが、
単に今生きているだけの狭い原因結果だけではない、目に見えない生まれる前の(何の?)
世界や両親を含めての原因結果の法則を考えてみなさいということである。更に現実の社
会では、実は「原因と結果が逆だった」こともあるし、『依頼者さえ嘘をつく』(注6)世の
中である。

しかし本人は実に真剣であり、本人でさえ、そのことに気づいていないことがある。と
すると、うっかりアドバイスもできない。よく『鬱病の人にガンバレと言ってはならない』
と言われるゆえんである。

トイレをキレイにするのは実は非常に大切なことである。神様がいるからだけではない。
「このトイレ、憎たらしいからキレイになるな」と思いながらトイレを掃除する人は普通、
余りいない。だから心もキレイになるはずだ。しかし「この唐揚げ弁当を完売すれば、時
給が2割増しになるから頑張って売り切ろう」ということは、現実ではよくあることだ。

注1：その後、先輩社員は海外渡航者用の「腹痛症状対処の滅菌のための錠剤」を飲
んでいたとか。この研修は「過去は不明だが少なくとも現在は行われていない」
ことを日本最大手のトイレ関連メーカーのT社とI社の二社のショールーム
で社員の方に、この7月に確認した。

注2：長時間の運動による急激な低血糖状態。体が動かなくなり意識も鈍くなる。

注3：この場面で、実はこの人が私に「告白していたのだ」とは考えられない、、、こ
とはなくはなくなかない。

注4：極めて多くの要素が複雑に絡み合っているの、ある原因によって出てくる結
果が常に同一ではないという考え方。複数の人間による集団だけではなく、一
人の人間だけでも既に複雑系であることは言うまでもない。

注5：三世因果の法則については、ここに書いただけでは極めて不十分で誤解の恐れ
がある。興味のある方は各種の仏教書や仏教辞典を御一読頂きたい。

注6：裁判で弁護してくれる弁護士に対して、全てを事前に吐露すべき被告人が嘘
を言うということ。